

DISTRICT 2640



2013-2014 VOLUME 12

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を

ガバナー月信

6月号

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー
第2640地区月信

- RI会長メッセージ
- ガバナーメッセージ
- 「広島研修」報告
- peace絆
- 「福島会議」報告
- 貝塚RC50周年

- 『蝶(昆虫)が集まる春木川源流の森』活動
- 意義ある業績賞受のお知らせ
- 職業奉仕リーダーシップ賞 受賞のお知らせ
- RI会長賞受賞のお知らせ
- ガバナー補佐として
- 出席報告

2013-2014年度ガバナー

久保 治雄

〒596-0825

大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号

TEL:072-437-2640 FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>



ロータリーを実践し続けよう



RI President Message ロータリーを実践し続けよう

2013～2014年度 国際ロータリー会長
ロン D. バートン

親愛なるロータリアンの皆さん、オクラホマでは「積まれた薪の山の前を去る時は、見つけた時より少しだけでも高くしておかなければならない」と言われています。これを実践するために、私は皆さんに参加をお願いする必要がありました。参加することは、私たちの今年度のテーマ「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」そのものです。そして、私たち一人ひとりがそれを成し遂げました。私たちの一人ひとりが椅子から立ち上がって、ロータリーを実践してきたので、私たちは人生を豊かなものに変えたのです。

今年度、私は皆さんにそれぞれが新しい会員を連れてくるよう頼みました。国際ロータリー理事会は、世界中で会員増強をする基盤をつくりました。16の地域別会員増強計画が、今、進行中です。それぞれの地域で、人々がロータリーにいる理由付けを確信できるように設定されたものです。

子どもたちへの本の読み聞かせ、恵まれない人のための炊き出し、幹線道路沿いのごみ拾いといったプロジェクトの手伝いをしてくれる会員候補者がいれば、あとはおのずと進んでいくと、私は信じています。彼らは、自分たちが誰かの人生を変えたと実感するでしょう。そして、ロータリーの奉仕を通して与える時、それ以上に報われると実感するでしょう。

私はまた、皆さんにロータリー財団への寄付をお願いしました。今年度のガバナーは全員それを実行し、ロータリーの歴史の中で、初めてこの約束を果たした「ファーストクラス（バートンR I会長が今年度のガバナーにつけた呼称）」になりました。

私たちは、自分のクラブで何の責任も持たないことを心地良く感じことがあります。その理由は、私たちがロータリーをもっと実践するよう働きかけられていないからかもしれません。もちろん、例会に行って友人たちに会うのは素晴らしいことです。しかし、もし皆さんが情熱を注ぎたければ、プロジェクトに関わ

る必要があります。実践的なプロジェクトにおいては、皆、同じになります。 トラックから箱を降ろす作業をしている時、あなたは隣の人と何ら変わるところはありません。その人は、あなたといさかの違いもありません。共に奉仕する時、皆、仲間であり、このようにして人々は関わり続けるのです。

ロータリアンは、ロータリーが行っていること、そしてその能力をあまりわかっていないことがあります。ロータリアンが、私が今年度見てきたように、プロジェクトがどのような影響を与えているのかを目の当たりにできたら、彼らの人生はより豊かなものになるでしょう。ロータリアンは、会員が良いことをしたいという共通の思いを持ち、共に働くことで、とてつもないことを成し遂げる組織に所属していることを理解するでしょう。

私は、ロータリアンが行っている善行を見て畏敬の念を抱き続けます。皆さんの活動のおかげで、薪の山は少し高くなったと確信し、皆さん一人ひとりがこれからも「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」続けてくださることを願っています。



2013～2014年度
国際ロータリー会長
ロン D. バートン



ガバナーメッセージ（1）

Governor's Monthly Letter
クラブ会長・幹事様

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー
久保治雄

本年度も愈々最終月と成りました。本年度の奉仕実績は如何でしたか。しっかりと検証してください。そして次年度に引き継いでください。カナダの作家 L·M·モンゴメリが 1908 年に発表した長編小説、赤毛のアンの中で「人生はどれだけの事をしたかではなく、人生をどう充実して生きたかです。」と言う件（くだり）が有ります。ロータリーもどんなに多くのお金や品物を奉仕の為に拠出したとしても「思い遣りの生きた心」が通い合わなければ本物の奉仕とは言えないと思います。小手先の奉仕は、長くは続かないのです。本末転倒とは、重要な事とどうでも良い事を取り違えてしまう事です。ロータリーの創始者ポールハリスは、シカゴ・ロータリー・クラブのメンバーから心無い誹謗中傷を受けます。そして、1908 年 2 期目の会長職を途中で投げ出します。しかし、クラブ拡大に生きがいを見出し、1910 年 16 クラブの拡大に成功し、現在の R I の前身と成る全米連合会を組織し、初代会長に就任します。1911 年全米連合会の大会で次のように語ります。

「もし、神の摂理によって、私がどこかのコロシアムの舞台に立たされて、皆さんと向かい合い、瞬時のためらいも許されず、あらんかぎりの声で何か一言、言えと告げられたら Tolerance『寛容』、と大声で叫ぶであります。」

この有名な言葉は、ポール・ハリスが「ザ・ロータリーアン誌」の前身である 1911 年 1 月創刊の『ザ・ナショナル・ロータリアン』に寄せた「合理的ロータリニアズム National Rotarianism」の文であり、ロータリアンの抛って立つべき原点を照らしたものとして、今もなお不滅の光芭を放っています

If this Rotary of ours is destined to be more than a mere passing thing, it will be because you and I have learned the importance of bearing with each other's infirmities, the value of toleration.

(The National Rotarian, January 1911)

私たちのロータリーが、単に一過性のものでないとしたら、それはあなたや私が、互いの弱点を忍ぶ、つまり寛容の価値を知ったからでしょう。

(ナショナル・ロータリアンより)

The spirit of tolerance which has made it possible for Rotary to form a worldwide fellowship of business and professional men will make all things possible. (My Road to Rotary)

ロータリーが、事業と専門職務に携わる人の間に世界的な親睦をつくることができたのは、寛容の精神のおかげですが、この寛容の精神をもってすれば、世の中に不可能なことはなくなるでしょう。

(ロータリーへの私の道より)

「寛容」の語源と意味

日本語の「寛容」は、明治になって翻訳された語である。英語 "Tolerance" の語源を調べてみると、endurance, fortitude とあり、もともとは、「耐える」、「我慢する」という意味をもつ言葉である。次第に、「相手を受け入れる」の意味をも含むようになったが、無条件に相手を受け入れるというより、自分の機軸にあったものだけを許す、という意味あいが強い。

現在使われている「寛容」(Tolerance) は、近世ヨーロッパ社会において産み出された概念である。というのも、「十六世紀の宗教改革の結果として、カトリック普遍主義が崩壊すると共に、多くの同時代人が宗教的な寛容を重要な課題または争点として認識するようになった」からである。



ポール・ハリス
1911年1月創刊『ザ・ナショナル・ロータリアン』の以下原文（訳）を掲載します。

もし、神の摂理（せつり）によって、私がどこかのコロシアムの舞台に立たされて、皆さんと向かい合い、瞬時のためらいも許されず、あらんかぎりの声で何か一言、言えと告げられたら“寛容”と大声で叫ぶあります。

もし私たちのこのロータリーが、つかの間の存在以上のものたるべく運命づけられているとすれば、それは皆さん方そして私たちがお互いの欠点を我慢し合う、すなわち寛容の価値の何たるかを学び知ったからであると言えましょう。

ロータリーというクラブ組織は、歴史に全くその先例を見ないものです。

羅針盤の発明されるずっと以前、危険な未知の海洋を星を頼りに安全に航海した人々のように、今日、ロータリーの先駆者たちは、遠い昔から人間の生活を支配してきた不文律を守りながら、ロータリーというこの船の舵（かじ）を取って、危険と未知そして困難の渦巻くこの世の中を、たくみに導いてきました。今後、私たちのこの船が理性的な寛容、そして他人の信念に対する人間的思いやりという安全コースから、逸（そ）れることのないように祈ろうではありませんか。

今、私が冒頭に書いたように、神の摂理によって、全世界のロータリアンの心を一身に引きつけて、コロシアムの舞台に立たされたとしたら、次のような質問を発してみたいと思います。

「皆さんの理解しているロータリーの哲学とはどんなものでしょうか」

私は多数の人々の手が挙げられるのを心眼で見ることができます。そしてまた私は、各自のとっさの意見の表現という形では、正確な結論に到達することは望めないということを悟るでしょう。

しかし、私はあえてまた、次のような質問をするでしょう。

「ロータリーの哲学とは、仲間の会員に事業上の利益を与える、あるいはまた利益を与えてもらい、そしてまた自分の事業を会員の間に広め、さらにまた世の人々の間に広めてもらうことであると、信じているものは何人くらいいるでしょうか」

さらにまた、もっと質問の幅を狭めて次のように尋ねてみたいと思います。

「皆さんのうちで、何か事業上の利益を求めてクラブに入ることを不名誉もしくは非道徳的だと考えるものは何人いるでしょうか」と。

この質問は皆さんの急所をついています。多数のつぶやき声の中で2、3人の手が挙がるかもしれません。そういう場合は、それら少数者の意見を聞いてやるのが公平だと思います。そこで私は、その少数者のうちの1人で、特に道徳を重んじるA氏にその考えを話してくれるようお願いします。私にはA氏が何を言うかすぐ予測ができます。彼は次のように言うに違いありません。



ガバナーメッセージ（3）

利益の追求は危険

「ロータリーの特色として、自身の事業上の利益の追求を挙げることは危険であるように思える。世間の人々は私たちのことをどのように考えているだろうか。私は既にこの街（まち）で、社会的地位の高い幾つかのクラブの会員になっており、そして少なくともそれらのクラブの一つでは、クラブ内で事業上の利益を追求することは厳しく禁止されている。またそのほかのクラブでも、そのようなことはすべてタブーとなっている。

クラブはクラブ自身の目的のためにあるもので、事業上の利益のためにあるものではない。昼も夜もこつこつと仕事を続けたいなら、そのような人は、自分の事務所でそれをやるべきだ。クラブの主な目的の一つは、仕事から離れ、休息とレクリエーションを楽しめることにある。私は既に40年間生きてきたが、今までこの基本的原則に反するような定款細則を持っているクラブがあるとは聞いたこともない」と。

すると、ここに皮肉屋がいて、次のようなことを言うかもしれません。「皆さんのおじいさんは、その一生に一度も汽車に乗ることなく終わったということを考えたことがありますか。その場合、おじいさんはその無経験故に、汽車というものに対して正しい概念を抱くことができなかつたであろうということを考えたことはありませんか？」

議論がこのように展開した場合、できたら私はこの論題について、いつも物事を割り切って考えるB氏の意見を聞いてみたい。B氏は多分次のようなことを言うでしょう。

「事業上の目的のためにクラブに入ることが不名誉かどうかは、クラブ、その綱領、そして入会者が入会の際、何を誓約するかによる。事業上の目的を持って実業クラブに入会することは、社交を目的とする社交クラブに入会し、あるいはスポーツを目的とするス

ポーツクラブに入会するのと同様、何らとがむべきことではない。

もし皆さんがご自分の妻や子供のため、まともな事業上の取引によって、クラブの仲間からそこばくの金をもうけようとしたことを、悪いと言われたなら、その人に向かって“あなたのキャブレターの中には何か異物が入っていますよ”と言ってあげなさい」



（1900年代初頭のシカゴ）

利益追求も結構

「合法的な取引は、双方にとって利益になるのです。私は、相手に私と取引する機会を与えるとき、ちょうど私自身に対するのと同じように、相手にも大きな恩恵を与えていると信じている。A氏（道徳を重んじる人）が間違っているのは、彼がたまたまそのメンバーである特定のクラブ内で、事業上の取引が禁じられているか、あるいはタブーとされているということだけを強調している点だ。

真のロータリアンは、外部の人から“事業上の目的がロータリーの特色の一つだ”と言わなくても決してしそげはしない。もし皆さんの事業が事務所で大声で話し合える性質のものであり、そしてまた家庭で語り合うにはあまりにも尊いというようなものでなければ、どんな理屈であなたは、それをクラブでやってはならないというのだろう。

事業こそ文明の源流であり、もし事業をなくし、時



というものを切り取ったなら、私たちはまた、キリスト以前の時代に返ってしまうことだろう。結論として私は次のようにお聞きしたい。

「ロータリーとは、仲間の会員に事業上の利益を与え、自分の事業を仲間の間に広め、あるいは仲間の会員から事業上の利益を得て、そしてまた会員によって世の人々に自分の事業を広めてもらう、ということを目的とする以外の、あるいはそのような目的よりももっと高いものを目指すものであろうか」

では、次に何事にも現実的に対応する C 氏の考え方聞いてみましょう。

私はこの C 氏とはかなり前からの知り合いです。なかなかの善人で、なんかく勘定は期限が来れば必ず払う、または期限前でも割引をしてくれれば払うという愛すべき性質を持っている人です。

彼は決して百万長者にはなれないでしょう。なぜならお金の勘定があまりにも細かいからです。大きなことはできないでしょうが、つましく生活して、決して社会の厄介者になるようなことはないといった人物です。その C 氏は次のように言っています。

商売上好都合

「私はこのクラブがこの街にできて以来のチャーチメンバーだ。その間に私は 75 人の会員に儲（もう）け口を与え、そしてまた 32 人の会員に私の商売を広めた。だから私が助力した人は 100 人以上になる。そしてクラブ会員とした取引の額は

総計 2, 148. 16 ドル、それから私が受益者となつた場合の取引額が 1, 971. 65 ドルで、このうち、83. 95 ドルを除いては全額清算済みとなっている。だから私は自分の出し分は出したし、帳じりは貸方になっていると思う。もしお疑いなら店へ来ていただいて結構、どの人にどんな品をあげたか、またどの人からどんな品をいただいたか、一つ一つお目にかけよう。

ロータリークラブに入ったのは、勧誘してくれた人

が、このクラブは事業上の利益を目的として集まった、異なる業種の事業家のグループであると言ったからで、私にはそれが非常に合理的なプランであるように思えたからだ。会員になることは 200 ~ 300 人のお得意さんを得るようなもので、事業家が儲け話を求めていつも私に接触してくる。このように話を持ちかけられた時は、話があまりにもうますぎると思った。しかし私の考えでは、クラブの性格が事業クラブであつていいし、また社交的、または公共的目的を持ったものでもいいと思う。だが社交的あるいは公共的性格を持ったクラブは、ほかにもたくさんあるので、やはりロータリーは事業クラブとしてとどまったほうがよいと思う。

私は働き者で毎日 12 時間は働く。クラブ例会に出るときでも、ちょっと変わった形式ではあるが、これもやはり商売の一つであると思って出てくる。そうとも考えなければ、これに時間を割こうという気はない。皆さんのが市民の義務だとか何だとかいろいろなことを話されるのは大変結構なことと思う。しかし、商売とはお金を儲けることなのです。そして私たちが追い求めているのは、結局そのお金なのだ。この街の進歩的な人の一人で、いつも市のために、あれをやろう、これをやろうと叫んでいる人を私は知っているが、偉そうなことを言う前に、私が貸したお金を返すべきだと思う。彼は私から 1 ドル 75 セント借りたままなのだからね。私の考えるところでは、ロータリーは一つの企業体だ。そしてその企業体としての任務をよく果たしている。

まあ企業体そのものではなくても、それに近いような形でその務めを果たしていますね。これはそのままよいのであって、そっとしておいたほうがよい。これが私の結論です」と、言って C 氏は着席した。

より大きな見解

さて、もう一人 D 氏の話を聞いてやらなくてはなりません。彼はこれまでの討論で、まだ発言していないグループの意見を代弁します。

D 氏は公共心に富み、常識の豊かな人です。最終発



言者として、D 氏は反対意見の人々によって提起された論点をすべて検討する機会を持ったわけです。しかし、彼はいつも発言は最後に行います。なぜなら、彼は相手の言うことをよく聞いてやる性質の人だからです。

D 氏は次のようにしやべり始めました。

「ロータリーにおいて考えるべきことが、事業だけかどうかは、主として各人の見解によりましょう。お金とはどんな価値があるのか、ロータリーをこの質問に照らして、考えてみるような習慣のある人ならば、そのような人にとって実業クラブは全く単純に見えてつまらないでしょう。

まあロータリーを全く事業上の方便として見た場合でも、非常によい、好都合のものであるということは言えましょう。

私の有能なる友人 C 君（現実主義の人）は、ロータリーを純粋に商売上の手段として考えておりますが、彼は彼なりにクラブのためにになっているということは否定できないと思います。だれでも生活をしていかなければなりませんから、その意味で彼が私たちの助けになっているということは、大いに歓迎されるべきことだと思います。

しかし、C 氏の生き方だけが唯一の生き方であるのか、ロータリーとは単に事業上の利益を融通し合うだけのものではないと、信じる人々が存在する余地はないのであろうか。そしてまたロータリーには、現代の国民として、祖先の残した莫大（ばくだい）な遺産の継承者として、各自の受けた恩恵に報いるべく、公共のため、次代のために何事かをなさん、と考える人々が存在する余地はないのであろうか。



（1909 年シカゴの公衆トイレ）

私はロータリーというものを、社会に恩返しするための団体であると考えてきました。こう考えますと、自分の地域社会のためになることを行い、そうしながら何か自分自身のためになることも、できるかもしれないと思うのです。

えびで鯛（たい）を釣るような仕事は大した勇気を必要としないということを知っていますが、ロータリーでは、勇氣があってもなくても、あまりお金とか時間の犠牲を強いられることなく世間に恩返しをする機会を与えてくれます。

皆さん、ロータリーを通じて仲間のロータリアンのため、あるいは社会のため、何かしておられる時は、その仲間は皆さんのために何か良いことをしてくれていたり、あるいは良いことを言ってくれているのではないでしょうか。

自分自身のためより、他人のために働いているときのほうが、どんなにうまくいくかということをお考えになったことがありますか。自己の利益を離れていた仕事というものは、広く世間に知れ渡るものです。

もし皆さんのが本気になって、時間のすべてを私の事業のために打ち込んでくれたら、そして私もまた同じように皆さんのために働いたら、私たちの稼ぎは倍にも増えるでしょう。

今まで私の述べてきたことは、質問の本筋から外れているかもしれません、一体、ロータリーにおいて考えるべきことは事業だけでしょうか。

あまりうますぎる諸には気をつけろということが言われます。この世の中には、うまい話がたくさん転がっています。しかし成功とか蓄財に平坦な道はありません。ロータリーといえども、あの "開けごま" のおまじないと同じようなものであると考えたら間違います。このことははっきり認識しておくべきでしょう。

表面的に見るならば、ロータリーの構想は、理論的に正しいようにみえます。いや正しすぎるくらい正しくみえます。自分の事業と競争的関係を持たず、しかも皆さんの利益を計ってくれる友人を 200 – 300 人も持つことは大変魅力



的な話です。それが実際に理論通りに運んだら、私たちはこの世にあるすべての事業を、まもなく独占してしまうことができるでしょう。

しかし実際には、そういうことは起こらず、また私たちとしても、そこまでは望んでいません。なぜでしょうか。

それは人間性というものの故にです。競争者がいない市場で、品物を売りたいと思うのが人間性ですが、またその半面、競争者のいる市場から、品物を買いたいと思うのも人間性なのです。

人間とは同時に競争を憎み、かつ好むようにつくられているものです。貧弱で古ぼけた競争相手を、消してやろうなどとしてはなりません。その人は長い間、忠実に私たちのために尽くしてきたのです。競争者というものは必要な存在なのです。

もし、私たちが競争相手を完全にやつつけてしまったとしたら、遅かれ早かれ、クラブ会員になっていると、商売敵をやつけるのに好都合だと考える人が、入会してくることになるでしょうし、またその後からも彼と同じような考え方を持つ人が入ってくるようなことになるでしょう。

自分を拘束する諸条件に反抗するのが、アメリカ人気質の特徴で、自分の尊敬する人のためには理屈抜きで、自ら進んで無償で尽くすという傾向があります。

皆さんのそしてまた私の事業にとって、最も貴重な資産は、私たちをして私たちの商品を、ひいきにしてくれる人であります。無理に私たちをひいきにするよう強制されている街全体の人々より、このような性格の人、1人の方が価値があるものです」



ポールハリス



妻となったジーン

資質を表示するバッジ

「ロータリーのバッジは資質の保証となるべきものでなくてはなりません。私はB氏（物事を割り切って考える人）が語ったすべてを正しいと信じております。正当な事業取引は、何ら不名誉ではありません。

それからまたC氏（物事に現実的に対応する人）の言ったように、お金儲（もう）けの手段としてロータリーを考えることも、あながち間違ってはいないでしょう。

しかし、もう一つ大事なことは、ロータリーは公共的福祉の増進のための力であるということです。

もしロータリーにおいて、完全ということが達成できるとしたら、私たちはこの世にあるすべての職業および事業を代表する人々を集めたクラブをつくりたいと思います。ということは、クラブに行けば、どのような職業または事業に従事している人にも会えることになります。ロータリーのもつこの実力が、ある共通の、しかし、愛目的的に向かって発揮された場合を考えてみると、興味深いのものがあります。

ほとんどすべての街（まち）が、各々商業団体を持っているというのは事実です。しかし、そのような団体がもつて存在できる余地はありますし、さらに考えるべきことは、これらの団体は、"もっとニューヨークを大きくしよう" "もっとシカゴを大きくしよう"などと叫ぶのに忙しすぎて "もっとニューヨークを良くしよう" "もっとシカゴを良くしよう"と叫ぶ暇がないようです。

ロータリーは、新しい勢力が集まったものであり、またほかのどのような団体やクラブも持っていないような、潜在的な力を持っております。地域的にも全国的にも、ロータリーのような影響力を発揮できる市民団体は存在しません。

ロータリーは、アメリカのすべての主要都市に根を下ろしているので、法律の立法に与える影響力は、ほかのどのクラブにも増して大きいものがあります。

ガバナーメッセージ（7）



私たちはロータリーにおいて、より広く、均衡のとれた、そしてもっと強烈な愛国主義を必要としているのです。私たちは、会員のレベルを常に高く保たねばなりません。

各会員のロータリーに対する忠誠の度合いは、その会員がどのような人を、会員候補として推薦するかによって、測ることができます。自分より優れた人を会員に推薦する人は、心からロータリーのためを思っている人と言えましょう。

また自己の事業上の利益のために、あまり質の良くない取引先の友人や、お得意を推薦する人は、私欲を優先させる人であると言えましょう。

そのような行為が、どれほどロータリーに害を及ぼすかは、ちょっと計り知れないものがあります。

私は、親愛なるC氏（現実主義的な人）に言いたい。ロータリーは常に最高の結果をもたらす、たとえその結果がお金で意味するものであっても。ただし、もしあなたがすべての時間を帳簿づけやお金勘定に費やすのでなければですが。なぜなら、クラブを通じての交際では、たとえ儲（もう）け話でも、あまりしばしばされると、いやがられるものです。

正当な取引は、決して不名誉なことではありませんが、しかしクラブでそれを行うのは不都合な時もあるのです。

人生において変化を求めるのは、人間性のしからしむるところです。そしてまた商売であろうと何であろうと、もしその人が自分の地域社会の人々から、よく思われていれば、何事もやりやすいというものです。

クラブについても同じことが言えます。クラブの存在する地元でよく思われていれば、クラブの成長も一投と順調にいくでしょう。人間であれ、クラブであれ、地元でよく思われようとするならば、地元のために尽くすのがよい方法です。

アメリカ人は、ある種の公共的な仕事を絶えずクラブに要求するように教育されています。まだ、皆さん、この種の仕事を何もしていないのであれば、私たちがやってきたことを見てもらいたいと思いますね。文明が進むにつれ

て、この種の仕事をする機会はどんどん増えていきます。

一度始めてみると、それがどんなに楽しいものかが分かって、驚かれることでしょう。

始めから積極的に奉仕できないというのであれば、少なくとも受動的に奉仕してみてください。何か公共問題についての講演があったなら、それに出席して話を聞くというのも、それに当たります。

それは皆さん自身の教育になるとともに、クラブにとつても良い広告になるはずです。一般市民は、皆さんのが少なくとも公共的問題に关心を持っているということを知るわけですから」



ロータリークラブ連合会第2回大会 1911年8月21—23日於ポートランド

事業における黄金律

「もしロータリーに、何か不愉快なものがあると責められることがあるとすれば、その自己主義についてであります。

この点、私たちの排他的性質は批判を浴びねばならないのかもしれません。

そのようなときは、次のように話してあげてください。自己主義の反対は愛地主義であり、ロータリーは会員に、人から助けられるのはもちろん、人を助ける機会を与えるものであると。

入会するとき、主として助けてもらおうと思って入った人で、だんだん交際の深まるにつれて、人助けをすることに、大きな楽しみを見いだすようになった人が多くいます。

ガバナーメッセージ（8）



友人に儲け話をもっていってやったり、取り次いでやることがどんなに満足すべきことか。お互いに知り合うことが少ない大都市では、特にそういうことが言えましょう。

私は今までに、ロータリーの中でだれかをひいきするようにと、はっきり義務づけられたことは、決してありません。私はロータリアンをすべてひいきにしております。そしてロータリアンをひいきにするこの習慣は、時がたつにつれて、ますます強くなっています。

ほとんど毎月、私はロータリアンのだれかと新しい取引関係をもつようになっています。そしてひいきする友人をつくる機会を与えてくれるという点だけでも、ロータリーの会員とは価値のあるものだと考えております。

それからまた、自分のクラブの仲間と同じように、ほかのクラブの人のためにもしてやりたいというのが私の望みです。そして会員個人のために、ひとりたり尽くしてから、クラブのため、そしてまたこの街のために何か特別なことをやろうと思っています。

交友は儲け話をもってくる、と言われますが、それは確かです。ロータリーの構成それ自体が商売上の取引を必然的に招くのです。事業資産としての会員資格は、日々とはいえないが、年々その値打ちを増していく。良いことはゆっくりやって来ます。取引関係というのは、一度結ばれれば永続するものです。お互いに競合関係のない人々と、交際する機会を与えられます。ロータリーはその綱領に職業を規定した一項目をもつ唯一の筋道立ったクラブです。

私は設計技師ですが、設計技師のクラブに出席した場合、どのような儲け話を見つけることができるでしょうか。そこに出でてくる人々は、すべて私の競争相手ばかりです。私を除いて、そのクラブには 146 人の技師がいますが、ロータリーではどの会員も私にとってお得意になる見込みのある人ばかりです。

商売や事業というものは、私たちの組織の部分部分をつなぎ合わせるセメントのようなものでなければなりません。しかし、それが組織のすべてであってはならないというのが私の信念です。私たちはとかく、このクラブ内の友好的関係を商売中心に考えがちですが、私はそれに反対します。

その理由の 1 つとして、時々商売を離れて、変化を求めることがよいと思うからです。いつも私たちが商売のことばかり考えて、お金勘定ばかりしていると視野が狭くなり、見識も小さくなってしまいます。

2 番目の理由として、時々変化を求めたほうが事業上、商売上、よい結果をもたらすと思うのです。

その 3 として、時として変化のあったほうが、ロータリーのためによく、そしてその結果、私たちが街、州、国そして全世界で尊敬されるようになると思うからです」。このように結論して、D 氏は着席しました。

皆さんはどうちら

さて、この討論の結末をつけるための論評を少し述べさせていただきます。

この 4 人、すなわち A、B、C、D 各氏の熱心なご意見を大変詳しく聞かせていただきました。そこで私が思うに、すべてのロータリークラブの会員のほとんどは、次の 3 つの種類のいずれかに当てはまるのではないかと考えるのです。すなわち、

(1) ロータリーに商売を持ち込んではならないと主張する A 氏と同じ考え方の人。

(2) 商売こそロータリーのすべてであると信ずる C 氏と同意見の人。

(3) ロータリーとは、公共的活動および親睦を、商売と合理的に混ぜ合わせたものであるとする D 氏と同じ考え方の人。

真のロータリアン哲学として受け入れられ、ロータリアンにも、また、ロータリアンでない人々にも同じように理解され、尊敬される見解は、この 3 つのうちのどれか 1 つ、またはそれに近いところにあるはずです。

ロータリーに秘密会合があつてはなりません。もしロータリアニズムが、全国民を陪審員とする審理において、いささかでも悪びれるところがあるとすれば、それはロータ



ガバナーメッセージ（9）

リーに合理性の欠けているところがあるからであり、早速改められなければなりません。

限度ある人間の身では、完全なる英知ということは望めません。しかし、生きるということは進歩するということであり、進歩がやんだときは、すなわち死が訪れるのであります。

どのような教義、どのような主義といえども批判される運命をもっています。しかし、合理的な批判であれば、それに耳を傾けてそれから何物かを得ることが英知であると言えましょう。

もし万一、ロータリーが世の指弾を受けるようなことになった場合には、意味のないことを大声で叫ぶより、相手を信じさせるよう筋道を立てて説明しようではありませんか。人を裁きたがるのが、人間の性でもありません。かつて、マーチン・ルーテルは教会から裁かれました。しかし後年、この立場が逆転し、裁かれた者が裁いた者を裁くことになったことをご存じでしょうか。

もし、私たちがロータリーを可能な限り高い水準に置いて、そしてそこにとどめておくならば、たとえ私たちが裁きの庭に引き出されたときでも、証人を得るのに苦労するようなことはないでしょう。

このように考えるとき、皆さんのそして私の双肩には重大な責任がかかっています。しばし沈黙して、初めに書いたあの独自“寛容”的一語に耳を澄ましてみようではありませんか。

それからまず、真剣に自ら反省し、それを表現してみようではありませんか。

ロータリーは巨大にして強力な機構です。もし野放しにされるなら、それは全人類の脅威とさえなるかもしれません。しかし、適正に導かれたなら、それは私たちが恥じるには及ばぬ、人間味のある機構となるでしょう。

ロータリーのもつ偉大な力を知るとき、人はある種の大きな誘惑にかられます。しかし、それを克服するとき、もつとも永続する満足感が訪れるでしょう。

さて皆さん、皆さんはこの討論で展開された見解のいずれを取られるでしょうか。（写真は源流の会より転載）

1911年1月1日 シカゴにてポール・ハリス



国際ロータリー第2640地区ガバナー

久保治雄

「広島研修」報告



青少年交換受入留学生の「広島研修」報告（地区青少年交換委員会）

5月17日、18日1泊2日の行程で恒例の広島研修を開催しました。現在2640地区では6名の受入留学生を預かっています。アメリカ(3名)、ドイツ、メキシコ、インドネシアから来た高校生達です。1日目はユネスコ世界遺産に登録されている「原爆ドーム」を見学、その後「広島平和記念資料館」で熱心に核兵器の怖さや平和の大切さを勉強しました。また原爆ドーム前ではボランティアガイドから被爆者の立場としての経験談や核廃絶への思いなども聞くことが出来ました。



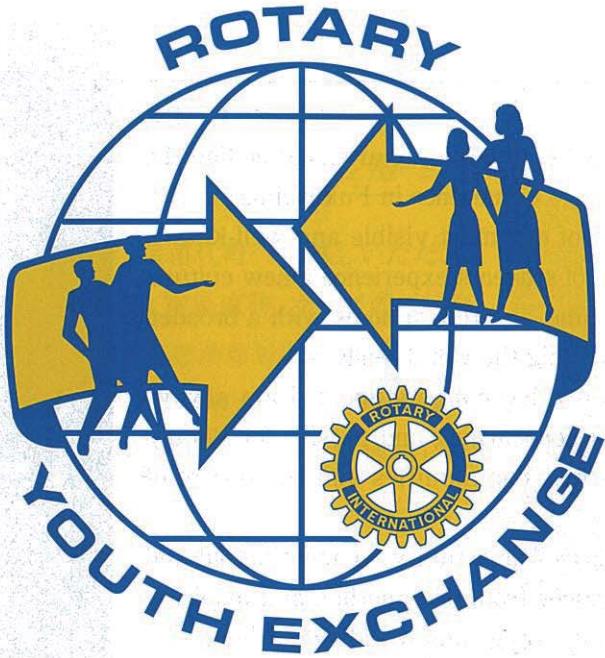
2日目はユネスコ世界遺産の宮島・厳島神社に行き、境内で偶然催されていた奉納神楽を観ることが出来ました。日本の伝統文化に直接触れることができ学生達も感動していました。その後、呉市にある「大和ミュージアム」を見学し、最後に「広島城」への登城を果たすなど慌ただしく時間が流れました。

今年度の受入留学生はとても仲が良いくつも一緒に行動し、集合時間になるといつも揃って現れます。よく学び・よく遊ぶ



高校生として充実した留学生活を送っていた様子が伺えます。小さな親善大使としての役目を終え、それぞれがもうすぐ帰国の途につきます。日本での1年間で得たたくさんの思い出や友人を大切にし、立派に成長してくれることを期待します。





第19回 国際ロータリー 日本青少年交換研究会・福島会議

世界と共に

～日本人に必要なこととは～

2014年5月24日(土)・25日(日) ホテルリステル猪苗代



The 19th Annual Japan Youth Exchange Conference
' Fukushima Meeting '



青少年交換委員長 山田正人

5月24日＆25日の1泊2日で開催された全国青少年交換研究会・福島会議に参加してきました。東海道新幹線と東北新幹線、それに磐越西線を乗り継いで猪苗代駅まで、片道5時間半の移動でした。ローカル線に乗ると同時に車窓から合津磐梯山が見え、猪苗代湖の周辺に菜の花畑が点在し、新緑の美しい森に囲まれた絶景でしたが、会議の連続でホテルの外には一歩も出ずくに残念でした。

大会の冒頭、2011年3月11日からの福島とオーストリアとの交流の紹介がありました。

東北大震災の折に、オーストリアから被災者の学生の受け入れを申し入れがあり、交流が始まったようです。オーストリア大使も招待されて大会に華を添えておられました。

大会の主要な内容は、①震災時の危機管理対応、②受入留学生に対する日本版統一保険の実施について、③ドイツの青少年交換委員会がマルチ（全国1区）になったことの紹介、④インタークトクラブ、ロータークトクラブ、ROTEX、それに受入&派遣留学生たちによる「私たちに何ができるか」という内容でのワークショップです。長丁場の会議の連続でしたが、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

次年度は、静岡＆山梨地区で全国大会があります。

来年は世界遺産になった富士山を背景に研修を行います。



福島 会議 写真 ①









peace 紛復興支援委員会

委員長 猿田 慎男

祈念植樹ツアーアー

事業名：紀南水害慰靈祈念植樹（新宮市）

場所：和歌山県新宮市熊野川町長 54 道の駅「瀬戸内街道 熊野川」

日時：平成 26 年 5 月 18 日（日）～19 日（月）

参加者名：猿田 慎男（堺フェニックス RC）

（敬称略） 村尾 利一（堺フェニックス RC）

間宮 健二（堺おおいづみ RC）

中井 秀行（和歌山西 RC）

今西 武（和歌山大学 教授）

田原春 剛

田中 健一

川下 四郎

8 名

行程：5 月 18 日午前 9 時堺出発 → JR 和歌山駅

稻むら火の館（津波防災教育センター）→ 道成寺 → かつら御苑 泊

5 月 19 日午前 10 時より「はまゆう」200 株を植樹

午後 1 時 30 分から引き渡し式、記念写真

午後 2 時 30 分 → 帰路へ



貝塚RC 50周年（1）

貝塚ロータリークラブ 創立50周年記念式典・祝賀会

貝塚ロータリークラブは、1964年（昭和39年）2月11日岸和田RC貝塚地区メンバー23名に10名を加え、33名で創立総会を開き発足いたしました。今年で50年を迎えました。

去る2014年2月4日「スイスホテル南海大阪」において、久保ガバナー他、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナー補佐、近隣クラブ会長、貝塚市長はじめ諸団体代表を迎えて、記念式典並びに祝賀会を執り行いました。





創立50周年記念事業

貝塚市へ災害対策用テント 2基

貝塚商工会議所へ自動体外式除細動器（AED）一式

4月15日の例会に於いて、藤原貝塚市長並びに東村貝塚商工会議所副会頭を招き、贈呈式を行いました。





岸和田北ロータリークラブ
会長 川中 富雄

20周年記念事業として、10周年記念事業に引き続き自然と環境に関わる内容として、神於山の荒廃した竹林を整備して植樹を行い、神於山が人と蝶などの昆虫がもっとふれあうことができる、身近な森になることを願っての事業です。

本年度も25度を超える気温の中、5月25日（日）に神於山保全くらぶ、ボーイスカウトの各種団体（総勢100人）と共に下草刈り、添え木のくくり直し等の作業を行いました。作業終了後は各種団体へ助成金を贈呈し、会員ご家族に準備して頂いた炊き出しの昼食を共にし、交流を深めました。

【各種団体への助成金】

神於山保全くらぶ、ボーイスカウト第4団、ボーイスカウト第5団・・・各5万円

また終結に伴う事業として、下記を予定しております。

【終結事業に伴う各団体への寄贈】

神於山植栽地整備・・・540万円

神於山保全くらぶ・・・500万円

岸和田市立中央公園 桜の園へのPC擬木テーブルセット・・・200万円

神於山「春木川源流の森」看板・・・50万円

ボーイスカウト第4団・・・50万円

ボーイスカウト第5団・・・50万円

エイズ啓発事業・・・50万円

岸和田市立図書館へのCD・・・10万円





RI 意義ある業績賞受賞のお知らせ

2013–2014 年度 RI 意義ある業績賞が決まりましたのでお知らせいたします。
受賞クラブ様には心よりお祝い申し上げます。



Ron D. Burton
President, 2013-14

T +1-847-866-3025
F +1-847-866-3390
ron.burton@rotary.org

2014 年 5 月

Mr. Keiichi Minami
President, the Rotary Club of Kushimoto
District 2640, RI

Minami 様

拝啓

日頃より、ロータリーの取り組みをご支援いただき、誠にありがとうございます。

この度、Kushimoto ロータリークラブに 2013-14 年度 RI 意義ある業績賞をお贈りすることとなりました。ここに謹んでお祝い申し上げます。

本賞は、地元地域で切実なニーズに取り組むロータリークラブの活動を表彰する賞です。これら奉仕活動はまさに、ロータリーの社会奉仕を実践し、他のクラブの模範となるものです。

貴クラブは、地域社会の発展に大きく貢献され、ロータリー地区、またロータリー世界で実施される素晴らしい活動の最たる例を示されました。国際ロータリーおよび世界中のロータリアンに代わり、貴クラブのご尽力に敬意と称賛の意を表します。また、これからも「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」もたらしてくださることを願っております。

敬具

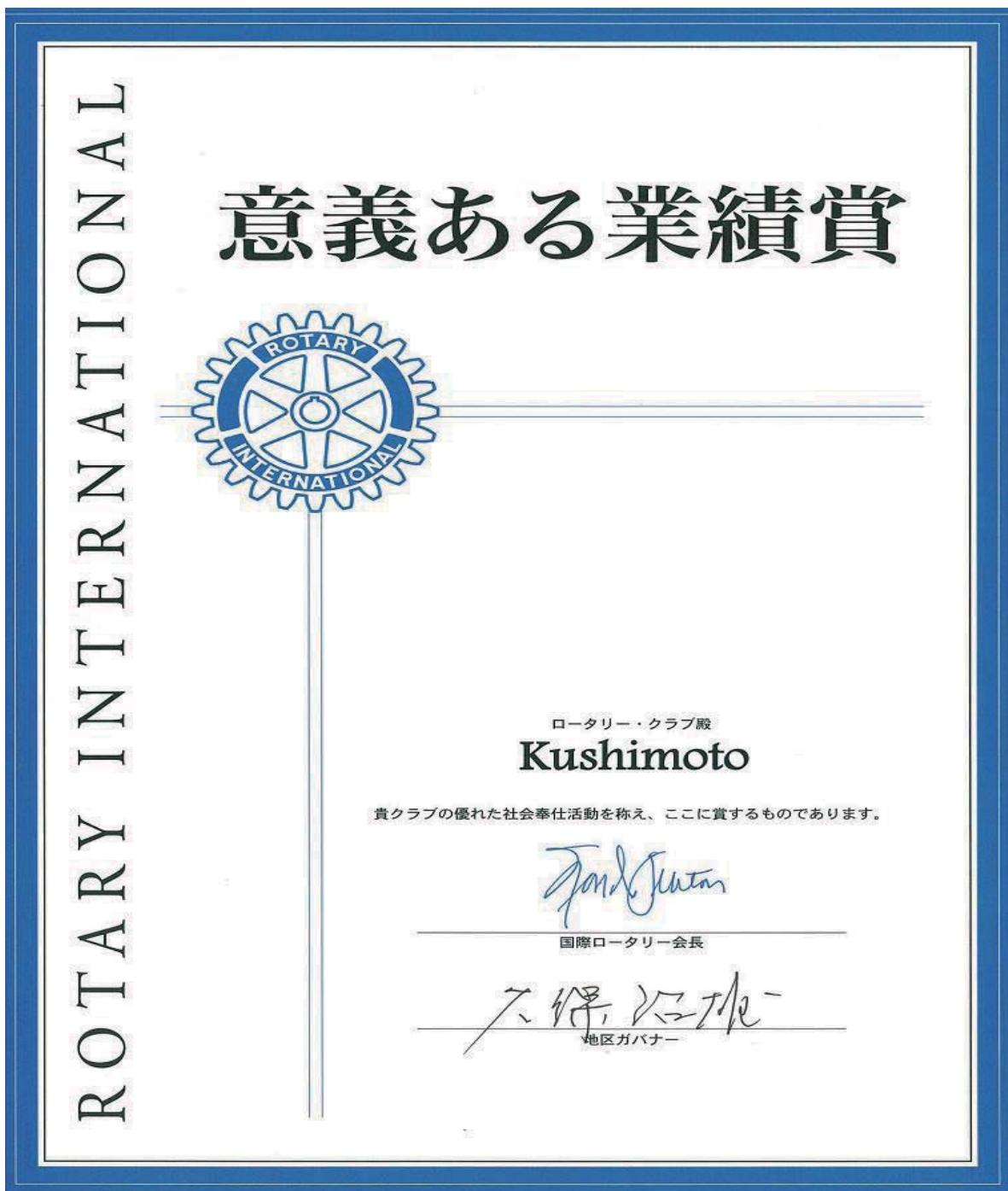
ロン・バートン



串本ロータリークラブ

意義ある業績賞は、地元で最も切実なニーズに取り組むロータリークラブの卓越した活動を表彰する賞です。これらの社会奉仕活動は、ほかのロータリークラブの模範となるものです。

串本ロータリークラブ様は地域社会に意義ある貢献を果たされ、地区、ひいてはロータリー世界で最も優れた奉仕活動の一つとなるプロジェクトを実施されました。串本ロータリークラブ様のご尽力に心より敬意を表し、ご報告申し上げます





職業奉仕リーダーシップ賞 受賞のお知らせ

貝塚ロータリークラブ
小西 喜代一 様





RI会長賞受賞のお知らせ

RI会長賞が決まりましたのでお知らせいたします。

2013-2014 年度受賞クラブ

堺フェニックスＲＣ

2013-2014 年度受賞インターラクトクラブ

初芝立命館高等学校　I A C

提唱クラブ：堺フェニックスＲＣ

羽衣学園高等学校　I A C

提唱クラブ：高石ＲＣ

受賞クラブ様には心よりお祝い申し上げます。



米山功労者一覧表

クラブ	氏名	表彰名
堺	児島 駒吉	第9回 米山功労者マルチプル
堺北	濱口 正義	第49回 米山功労者メジャードナー
那智勝浦	武内 宗隆	第5回 米山功労者マルチプル
和歌山	上岡 克也	第1回 米山功労者
和歌山	木谷 聰一	第5回 米山功労者マルチプル
和歌山東南	辻本 圭三	第2回 米山功労者マルチプル
和歌山東南	市川 正夫	第5回 米山功労者マルチプル

PHF・MPHF・ベネファクター 認証者 2014年4月

Club	Name	
Wakayama	Shuji Shirakami	F
Osaka Kongo	Hiromitsu Yamada	F
Wakayama East	Atsuo Inui	F
Kainan West	Dr. Takashi Kono	1
Wakayama	Eiko Sawamoto	3
Osaka Kongo	Dr. Chikara Kashimoto	6

F…ポール・ハリス・フェロー

数字…マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

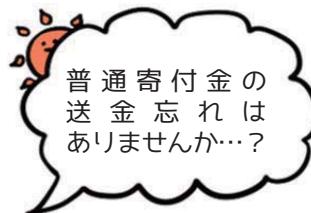
BE…ベネファクター



ハイライトよねやま 170

1 寄付金速報 — 残り2カ月もよろしくお願ひします —

4月までの寄付金は前年同期と比べ3.5%増、約3,900万円の増加です。普通寄付金は前年とほぼ同額ですが、特別寄付金が5.3%増となりました。大口の法人寄付をいたしましたこともあり、4月単月の寄付金、4月までの累計金額ともにこの5年間で最高額となり、今年度の寄付金は好調に推移しています。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今年度も残すところ2カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただいているクラブがありましたら、お早めにご送金賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



2 博士号取得状況 — 奨学期間が終わっても申請可 —

今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が届いています。2013学年度(2013年4月～2014年3月)に博士号を取得した奨学生・学友は38人、累計では3,430人です(5月8日現在)。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計(裏に氏名の刻印あり)を世話クラブ経由でお贈りしています。すでに奨学期間を終了した学友も申請できますので、事務局まで報告をお願いします。※発送は国内のみ



申請方法 「学位記の写し」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXまたはメールでお送りください。(FAX: 03-3578-8281/メール: scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

3 春の叙勲 — 台湾の学友が旭日中綬章 —

平成26年春の外国人叙勲で、台湾で“エビ養殖の父”として知られる米山学友、廖一久さん(1965-68／田原RC)が、旭日中綬章を受章されました。廖さんは日本留学中、東京大学で水産学を研究し、帰国後は台湾の水産試験所の研究員として、世界に先駆けてブラックタイガーエビの養殖を成功させるなど、台湾のみならず世界の養殖業に多大な影響を与えました。2012年には世界水産養殖同盟(Global Aquaculture Alliance)によるGOAL(Global Outlook for Aquaculture Leadership)2012大会で終身功績賞を受賞、また、2009年には台湾で最も権威のある科学賞、第5回総統科学賞を受賞しています。



<廖一久さんからの喜びのコメント>

4月29日、岸田文雄外務大臣より「旭日中綬章」を授与いたす旨の祝電を頂きました。身にあまる、望外な名誉で恐縮しております。私が長年研究して参りました魚介類、とりわけエビ類の養殖技術開発研究とその学術交流が、日台間の関係に貢献したことが評価されて今回の受章となりました。これは皆様から頂いたご支援とご鞭撻、特に、私の留学生時代に頂きました米山奨学会に負うところが大変大きいと思います。心より厚く感謝致します。今回の叙勲の名誉を汚すことのないように、心を引き締めて精進する所存です。

4

埼玉・川越駅前に米山学友の彫刻作品が設置されました



韓国出身の米山学友、キムキョンミンさん（2007-08／東京多摩グリーンＲＣ）の彫刻作品が、今年2月から埼玉県・川越駅西口広場に設置されています。「時間のハーモニー」と題されたこの作品は、2012年第5回小江戸川越トリエンナーレ・彫刻部で大賞を受賞したもの。川越駅西口広場の再開発とともに設置され、長く親しまれてきた噴水に代わる新しいモニュメントとして、市民の待ち合わせや憩いの場となっています。キムさんは現役奨学生の時に、第92回二科展彫刻部で二科賞に輝いたことがあります、今後ますますの活躍が期待されます。川越を訪れる際には、ぜひキムさんの作品をご覧ください。

5

中学校で「国際交流」の講演 — エソダ・バスネットさん —

第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）米山学友会会長を務めるエソダ・バスネットさん（ネパール／2011-12／横浜戸塚ＲＣ）が4月28日、綾瀬市立陵北中学校（神奈川県）で「国際交流」をテーマとする講演を行いました。ネパールの民族衣装に身を包んだエソダさんは、全校生徒約700人に向けて、母国ネパールの紹介をはじめ、自身の日本留学体験や国際理解の重要性について語りました。



700人の生徒さん達の前で話すのは初めての経験でしたが、皆さん、大変興味深く話を聞いてくれて、質問やコメントもしてくれたおかげで、充実した時間を過ごすことができました。今後も米山学友の誇りをもって、日本で学んだ知識や経験、語学力とロータリー関係のネットワークを活かしながら、ネパールと日本の懸け橋であり続けたいと思います。

6

今年も大活躍！台湾学友会が美化活動に協力

4月19～20日、台北市内で開催された台湾美化協会（台湾を美しくする会）の第12回年次大会に、台湾米山学友会メンバーやその家族、台湾学友会が支援する日本人奨学生ら15人が参加しました。同協会は、米山学友の徐重仁さんが、日本のNPO法人「日本を美しくする会」の活動に感銘を受けて2003年に創立したもので、年次大会には毎年、日本人も多数参加します。台湾学友会の参加は2007年からで、今年で8回目。米山学友は、清掃活動や日台参加者の交流を深める懇親会の通訳ボランティアなどを務め、橋渡し役として貢献しました。



台湾米山学友会の林維宏理事長は、「今年の学友会テーマ“恩恵の倍返し”に基づき、日台交流の盛大な行事の一つ、台湾美化協会年次大会の成功を今年もサポートすることができ、大変うれしい」と語りました。また、長年“縁の下の力持ち”として学友会を支える元理事長の阮允恭さんも、「『きれいな群、清潔の心』。これを実践することによって、社会に対する利他の精神が磨かれます。参加の機会を頂いて、本当に感謝です」と、充実感に満ちた感想を寄せてくださいました。



ガバナー補佐として

『一年を終えて…』

2013～2014 年度 ガバナー補佐
谷野 一彦

2013-14 年度も終わりを迎えようとしております。

ガバナー補佐 3 名、地区資金の不承認という、第 2640 地区始まって以来の波乱のスタートでありました。3 名で助け合い、クラブを分担し、私自身、40 余りのクラブを訪問させていただきましたが、従来のようなきめ細かい対応ができず、行き届かない点が多くありましたことを、心よりお詫び申し上げます。

この 1 年を振り返りますと、「ロータリーって何だろう?」と、自分自身に問いかける日々がありました。時には、地区に対する厳しいご指摘を受けることもありましたが、大半のクラブでは、是是非

の対応をとっていただき、励ましを頂戴し、それが心の支えとなりここまでやってまいりました。各クラブ様におきましても、それぞれ社会のニーズに応じた素晴らしい奉仕活動に邁進されたことと存じます。

「ロータリーとは何なのでしょう?」

職業奉仕は、人生哲学であると言われるように、個々の心の思いであり、それぞれの考えが生まれます。それでも、共通するのは、「感謝の気持ちをもって、人々によいことをする」という理念だと思います。「ロータリー」という組織がある以上、ルールは必要であり、大切であります。

しかしながら、ルールにとらわれすぎ、様々な尺度の物差しをあて、こだわりすぎると、本来最もるべきはずの「ロータリーの友情と寛容の心」が、見失わっていくのではないか。2640 地区のみならず、日本のロータリーの会員の減少やクラブの消滅が深刻な問題となっております。このような時期に若い世代にも関心を持たれるような魅力あるロータリーとなるため、今こそ、多様性と変革が求められていると思われます。2640 地区には、高潔性の高い、尊敬すべきリーダーがたくさんいらっしゃいます。この困難な時にこそ、そんな方々がリーダーシップをとり、発揮していただき、地区をより良い方向に発展させていただくことを切に願います。

『人生において、万巻の書を読むよりも、一人でも多くの素晴らしい方に出逢えるの方が、有意義である』

と、言われた方がいます。私のこの一年は、まさにこの言葉の通りでございました。困難も多々ございましたが、多くの素晴らしい方と出会い、友情を深め、たくさんのこと学ばせていただいた、生涯忘れ得ぬ一年となりました。皆々様のご支援、友情に、心より感謝申し上げますとともに、今後の 2640 地区の安寧を願い、御礼といたします。

この 1 年、本当にありがとうございました。



『想 起 し て』

2013～2014 年度 ガバナー補佐
佐 納 世 志 子

本年度の地区方針でございました「相互扶助」をもっとうに、「4つのテスト」に照らして地区行事やプログラムを進めさせて頂く機会を得ましたことは、この上ない緊張と感動の連続でございました。特に多数のクラブ様へ訪問させて頂きました折には、各クラブ様の特徴溢れる友愛の心でおもてなし下さいました。お骨折り頂きましたロータリアンの皆様に心から御礼申し上げます。まさに皆様の「超我の奉仕」を感じる時間でございました。地域に根差した社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年育成活動など継続事業として取り組まれています実態を心強く感じさせて頂きました。



その昔、1905年2月に創立されたシカゴRCは、クラブ会員の事業上の利益の増大と親睦を主に発足されました。後にこの種の活動はクラブ内部の利益交換に過ぎず、対社会的意義に欠けていることから定款改定がなされ社会的奉仕活動を示唆する対社会的目的を取り入れました。

＜模範的 RC 定款の中の R C の目的＞

1. すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深め、各会員の職業を社会に対する奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること
2. 事業及び専門職種の道徳的水準を高めるよう奨励すること
3. 構想や事業運営方法の交換によって各会員の能率を増進すること
4. 奉仕の一つの機会として、また成功への道として、情理ある交友関係を推進すること
5. 公共の福祉に対する各会員各自の関心を促し、市の発展のために人々と協力すること

自己の職業を自己の私的利潤追求の手段でなく、奉仕の心を育み人類の平等を広め世界の平和と繁栄に寄与するということを自覚するに至ったのであります。ロータリー創立110周年目前に、今私たちが初心に帰って胸ときめく夢・希望を抱き次世代に繋げる奉仕の心を一人でも多く地域のリーダーに伝えていかなければならないと確信いたしております。

最後に、各クラブ様の御健闘を祈念し皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。



ガバナー補佐として

『今年度を振り返り』

2013～2014 年度 ガバナー補佐
主井 知子

今年度を振り返りひと言ご挨拶申し上げます。

心から楽しい一年でした。ありがとうございました。

昨年一月、腰の手術後「今まで同様に仕事やロータリーに復帰出来るの？」と本当に心配致しましたが、中井会長や会員並びに奥様方、事務局 岝さん的心優しい励ましを頂き、日々リハビリに努めました。また久保ガバナーを始め谷野、佐納両補佐には、お忙しい中遠路和歌山市までお越し頂き、ミーティングを何度も開催して頂きました。温かいご指導を賜り誠にありがとうございました。皆様のご芳情に心より厚く御礼申し上げます。



体力が戻るにつれて、「微力な私が皆様のお役に立てることは一体なんだろう？」と一生懸命考えました。するとR I 会長ロン D. バートン氏のテーマ『ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を』が目の前を過ぎたのです。「そうなんだ！ その通りなんだ！」と。この時に私なりの答えを見つけたような気が致しました。そして、地区大会でR I 会長代理である福島南 R C の大橋パストガバナーにお目にかかり、被災された方々のために今日も奔走されておられる貴重なご講話を拝聴致しました。ロータリーを実践されておられるお姿は本当に神々しく、心が震える感動を頂きました。また久保ガバナーから学ばせて頂きました数多くのロータリー精神を今後はしっかりと身につけて、心身共に充実したロータリー人生を歩んで参りたいと思います。

今年度、間もなく最終月を迎えるに当たり「どこまでアプローチできたの？」と自問自答しつつ反省ばかりしている毎日ですが、少なくとも常に前向きに行動していること、いつも感謝の気持ちをもって好意と友情を深め、地区活動・クラブ活動に参加させて頂く為の健康維持に努めていることを誇りに思う今日この頃です。このような経験をさせ頂きましたことを有り余る光栄と感じ、久保ガバナー始め会員皆様に心から感謝申し上げます。

暑い夏に向かう季節です。どうぞご自愛下さいませ。

ありがとうございました。

新入会員のご紹介



山本 昌康
やまもと まさやす
所属クラブ：泉佐野
生年月日：1955年6月8日
職業分類：運送業



原 真理子
はら まりこ
所属クラブ：泉大津
生年月日：1953年12月25日
職業分類：病院



塚田 昌久
つかだ まさひさ
所属クラブ：和泉南
生年月日：1960年7月19日
職業分類：ビル管理



廣瀬 健司
ひろせ けんじ
所属クラブ：和泉南
生年月日：1965年8月15日
職業分類：理美容



小山 武士
こやま たけし
所属クラブ：堺フェニックス
生年月日：1968年8月2日
職業分類：診療放射線技師



三浪 公嗣
みなみ きみつぐ
所属クラブ：太子
生年月日：1973年8月21日
職業分類：自動車販売



水谷 吉伸
みずたに よしのぶ
所属クラブ：和歌山城南
生年月日：1967年12月18日
職業分類：証券業



小阪 知
こさか さとる
所属クラブ：和歌山アゼリア
生年月日：1965年11月29日
職業分類：社会封建労務士

第2640地区 出席報告（2014年4月）



クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率
	13.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計					13.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計			
有田	28	27	0	1	0	2	4	86.70	87.58	那智勝浦	16	17	0	1	0	0	4	84.38	82.34
有田2000	15	15	0	1	0	1	4	95.00	96.04	大阪千代田	24	28	0	11	1	7	4	92.00	90.00
有田南	32	32	0	0	0	0	4	96.42	91.64	大阪金剛	22	21	0	0	0	1	4	87.50	88.10
泉州 KUMATORI	16	50	0	38	0	4	4	100.00	100.00	大阪狭山	10	10	0	0	0	0	3	92.50	91.30
Rotary E-Club Sunrise of Japan	19	20	0	5	1	4	4	100.00	100.00	りんくう泉佐野	19	19	0	0	0	0	4	83.33	82.15
藤井寺しゅら	7	8	0	1	0	0	4	87.50	89.78	堺	64	63	0	3	0	4	4	92.44	92.45
御坊	44	46	0	4	0	2	4	86.14	83.15	堺東	31	29	0	0	0	2	4	96.15	97.77
御坊東	14	15	0	1	0	0	3	70.00	83.20	堺フラー	26	33	0	11	0	4	4	92.00	93.00
御坊南	27	30	0	5	0	2	4	90.75	81.56	堺泉ヶ丘	22	22	0	0	0	0	4	98.86	96.93
羽曳野	15	14	0	0	0	1	5	89.78	86.34	堺中	22	22	0	0	0	0	4	69.31	74.38
羽衣	14	15	0	1	0	0	4	83.27	88.54	堺北	28	31	0	5	0	2	4	83.86	85.87
橋本	52	53	0	5	0	4	4	82.87	86.07	堺おおいづみ	27	33	0	7	0	1	4	89.85	85.82
橋本紀ノ川	10	10	0	0	0	0	3	93.33	91.14	堺フェニックス	31	35	1	5	0	1	4	71.09	77.54
岩出	28	28	0	1	0	1	4	93.75	87.84	堺清陵	15	15	0	0	0	0	3	100.00	94.63
和泉	22	23	0	1	0	0	4	91.83	94.64	堺南	20	18	0	0	0	2	4	80.90	86.26
泉大津	41	41	1	2	0	2	4	83.54	84.77	堺東南	10	9	0	0	0	1	4	90.63	84.29
泉佐野	28	28	1	3	0	3	4	85.65	88.40	新宮	56	57	0	2	0	1	5	88.42	85.28
和泉南	29	28	2	3	0	4	4	74.17	66.96	白浜	8	9	0	1	0	0	4	97.22	92.65
海南	29	30	0	1	0	0	4	73.50	77.46	太子	11	10	1	2	0	3	4	80.00	72.10
海南東	51	50	0	1	0	2	4	76.00	74.94	高石	26	29	0	3	0	0	4	71.57	74.97
海南西	19	19	0	0	0	0	4	81.05	85.81	高師浜	15	16	0	2	0	1	4	85.71	83.79
貝塚	17	17	0	1	0	1	4	92.28	94.49	田辺	81	80	0	4	1	5	4	86.18	84.56
貝塚コスモス	14	15	0	1	0	0	4	78.01	84.04	田辺東	50	51	0	2	0	1	4	95.62	95.49
関西国際空港	19	20	0	1	0	0	4	81.25	84.21	田辺はまゆう	44	47	0	3	0	0	4	85.56	89.35
河内長野	29	29	0	1	0	1	4	91.90	88.80	富田林	38	39	0	1	0	0	3	69.21	70.96
河内長野東	25	25	0	1	0	1	5	90.78	90.62	富田林南	15	15	0	0	0	0	4	81.67	82.50
岸和田	31	29	0	0	1	2	4	85.96	87.20	和歌山	62	66	0	6	0	2	4	82.67	80.63
岸和田東	41	42	0	1	0	0	4	99.36	96.42	和歌山アゼリア	31	35	1	4	0	0	4	86.36	83.90
岸和田北	10	10	0	0	0	0	4	100.00	100.00	和歌山東	41	42	0	2	0	1	4	83.03	80.89
岸和田南	13	10	0	0	0	3	4	72.23	67.34	和歌山城南	41	41	1	3	0	3	4	76.42	79.83
粉河	17	17	0	0	0	0	5	98.57	96.99	和歌山中	29	29	0	0	0	0	4	84.98	88.01
高野山	16	15	0	0	0	1	4	90.00	86.57	和歌山北	37	38	0	2	0	1	4	82.35	80.46
串本	12	12	0	0	0	0	4	66.67	65.67	和歌山南	79	84	0	9	0	4	4	81.01	81.57
松原	26	23	0	2	0	5	4	98.75	91.93	和歌山東南	47	52	0	5	0	0	4	83.05	83.64
松原中	21	22	0	1	0	0	4	77.04	85.80	和歌山西	15	14	0	0	0	1	5	100.00	100.00
美原	11	10	0	0	0	1	4	93.00	92.00										

クラブ	7月1日クラブ会員数		4月末クラブ会員数		4月平均	入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率
	男性	女性	男性	女性		4月	累計	4月	累計			
71	1798	159	1864	174	86.52	8	177	4	95			
	1956		2038									



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー
第2640地区月信



DISTRICT 2640

2013-2014年度ガバナー事務所

〒596-0825 大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号 3F

TEL:072-437-2640

FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>